



四月号 ロータス林の わくわく通信



22年4月6日発行

4月 卯月



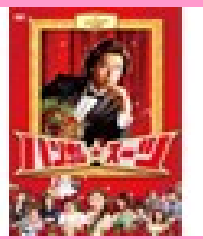
春休み、ゴールデンウィークと続きますね。

今年は、最大11連休の会社もあると聞きます。羨ましいですね。

毎年数十万人の日本人が、家族や恋人同士、グループで海外旅行に出かけるらしく、こちらも羨ましいかぎりですが、皆様はもうお出掛けの予定は決まりましたでしょうか？

一足先に海を満喫もしてみたいし、北海道の旭山動物園にも行ってみたい、でも今年も近場でバーベキューとか潮干狩り、森林公園で落ち着いてしまうのかもしれないですが、何はともあれ、思う存分普段の疲れを癒してリフレッシュしたいですね。

- せっかくの 祝日ベッドで 眠り姫
- 衣替え パツパツだけど まだセーフ
- 仕事減り 休日増えても 居場所なし
- 花咲いて 鼻水垂れて 色気なし
- 羽目外し 踊る上司を 写メで撮る



石井ちゃんのオススメDVD 「ハンサム★スーツ」



「なんやこれ…俺めっちゃハンサムやん!!」

亡き母が切り盛りしていた定食屋を営むサイクな珍朗(塚地武雅)は、心優しい人気者。

でも、メタボでサイクな容姿の為全く女性に縁がなく、そんな時にスーツの新調に訪れた洋服の青山で、着るだけでハンサムになれる『ハンサムスーツ』を店長の中条きよしに勧められ購入、絵に描いたようなハンサムな男、「光山杏仁」(谷原章介)へと変身を遂げ、一躍人気力リスマモデルとなり、超モテモテのドリームライフを満喫することとなります。

日本一多忙な脚本家、鈴木おさむ氏が手がけ、その愛妻の森三中・大島美幸も泣かせる好演技を見せるほか、『洋服の青山』との、タイアップや『東京ガールズコレクション』とのコラボレーションと話題満載。

「ハンサムだと、キラキラでハッピーな人生を送る事ができるのか?サイクだと芽えないアンハッピーな人生を送るしかないのか?」。見た目が違えば、住んでいる世界はこうも変わるのかと、ルックスという究極のコンプレックスを題材にしたドラマ、ラブ・コメディだと思いきや、意外と奥の深いじょんとくる一作でした。

暫定税率廃止で
車検も大幅値下げ感が……。

自動車重量税について
知っとこ!

自動車重量税は、大昔、田中角栄さんという人が総理大臣だった時に、道路創造目的に『新設暫定税』として導入し、車を購入する際、車検を受ける際に国民が払っていました。

暫定期間の延長延長で40年以上の長期間、制度が維持されていましたが、ようやく自動車の暫定税率廃止で3月末に重量税の暫定税率が失効しました。新車購入時や車検の時に払っていた自動車重量税が大幅に安くなり、車検費用が物凄く安くなった感があります。

そもそも自動車重量税の本来の税率は、年間0.5トンにつき5,000円。それが今まで6,300円を課税されていたので、1~1.5トン車で、本来ならば車検時に払う2年間分の税金は30,000円のところを、37,800円も払っていました。

ところが、重量税が安くなるという情報が、にわかに業界に伝わってきたのは、3月10日頃でした。あまり報道されなかったのは、自動車メーカーの決算である3月末の自動車の売れ行きに影響があっては困るからという情報操作だったのではないかと囁かれています。

動物環境会議

一九九七年に京都で開催された、地球温暖化会議に合わせて誕生した『動物環境会議』をご存知ですか?

文化や考え方の異なる各国代表の動物たちがエネルギーやCO2問題など身近な環境問題をテーマに話し合う会議なんです。

日本代表はタヌキの「タック」とカラスの「カラオ」、米国代表はワシの「ワッシ」、インド代表はトラの「トラシー」、中国代表はパンダの「パオ」、ケニアからは「ソウママ」、ドイツ代表はハリネズミの「ハリー」、ブラジルからはワニの「ワニール」、イギリスからはウサギの「Dr.ラビ」、様々な国の動物を反映した個性豊かな動物たちがドイツの森に集まって七つのテーマ、『森』『ゴミ』『クルマ』『エネルギー』『食』『海と川』『動物』について話し合います。

外国文化への無知や偏見やエゴから、カンカンガクガクの議論を経て、次第に相手を理解し始めた動物たちが、地球の未来にできることをみんな考えていきます。

全七巻のシリーズの絵本にもなっていますし、NHK教育TVにて三月から春休みの特番としてアニメーションで放映される事になりました。

ガラパゴスから「イグとガウラ」、南極大陸からは「エンペラとペルペル」など、新しい仲間がどんどん増えていますので、ぜひお子様と一緒に環境を考えてみませんか?



櫻井よしこさんの「講演を聞いてきました」



三月十三日、高知で櫻井よしこさんの講演をお聞きしました。

タイトルは『この国の行方』でした。

内容は、民主党政権が、マニフェストにも載っていない地方自治体での外国人の参政権問題を可決しようとしている件や、憲法について、沖縄の基地問題や、夫婦別姓案などにも触れ、特に中国の軍備拡大を危惧しておられる内容でした。

「二十一世紀のアジアでの大国は、中国、インド、インドネシア、日本ですが、世界の紛争は大西洋、西大西洋とインド洋にあります。いま中国の人口は十三億人、インドの人口は十億人ですが、一人つ子政策の中国は、やがてインドに追いつかれるだろうと言われており、中国は軍事力を増大して西太平洋とインド洋を支配しようとしていると考えられています。

米国のオバマ大統領は、対中国政策などから日米同盟を重視していますが、一方で普天間問題で、日本から米軍基地がなくなれば、たちまちのうちに中国からの移民が増え、チベットやウイグルのように侵略される危険もあります。

日本は今岐路に立っています。あの龍馬が活躍した明治維新の時代より厳しい状況があると考えなければなりません。」と憂国を、正しく美しい日本語と静かな説得力で唱えました。

話し方はとても上品で優しく、分かりやすい明瞭な言葉遣いと、お声は冷静さの中にも温もりがあり、表情は常に柔和な笑みをたたえていて、容姿全体から凛とした美しさが滲み出ていました。とても素敵な女性でした。

